

平成
29年度

どう生かすかまちの税金

予算総額 657億8千万円を可決

1

市長、平成29年度予算の説明 (2月9日)

市長当初予算提案理由説明

総額657億8千万円

前年度比120億2千万円減

平成29年度予算審査に当たり、市政方針が表明され、4月28日、市長任期満了となることから骨格的予算編成となり、当初予算は継続的事業費や維持管理費を中心としたために大幅な減となっております。

従って、その他復興にかかわる事業・政策的事業の予算は、選挙後の6月定例議会に補正予算として計上され本格的予算が執行される予定です。

平成29年度予算は、一般会計および国民健康保険・下水道会計・ほか震災復興にかかわる事業特別会計を含め8会計で成り立っています。

予算総額では、前年度比120億2016万円減(15・45%)の657億8009万円の大幅減となっております。

前年度の骨格予算である為、通常の予算と比較は出来ませんが、歳入の明るい要因としては、復興が進んできたことから、自主財源の主たる市税は前年比4・1%増の35億782万円となっております。

心配されることは平成32年度には、国の復興庁が閉鎖され復興交付金が終了することです。なお、事業費目の内訳は、別表の各種会計のあらましを参照してください。



▲平成29年度の予算を説明する阿部秀保市長

平成29年度各種会計のあらまし

(単位：千円)

会計区分	29年度 予算額	28年度 予算額	増減額	前年度比較	
一般会計	431億	501億1,400万0	△70億1,400万0	△13.9%	
特別会計	国民健康保険	52億8,605万6	60億3,284万1	△7億4,678万5	△12.3%
	後期高齢者医療	3億4,222万0	3億3,671万2	550万8	1.6%
	介護保険	29億9,020万8	29億1,093万3	7,927万5	2.7%
	農業集落排水事業	1億3,587万9	1億5,793万8	△2,205万9	△13.9%
	漁業集落排水事業	884万5	898万0	△13万5	△1.5%
	下水道事業	114億6,792万4	92億6,396万6	22億395万8	23.7%
	野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業	11億4,820万0	62億1,112万5	△50億6,292万5	△81.5%
特別会計	東矢本駅北地区土地区画整理事業		1,346万5	△1,346万5	
	大曲浜地区土地区画整理事業	13億76万3	27億5,030万0	△14億4,953万7	△52.7%
合計	657億8,009万5	778億26万0	△120億2,016万5	△15.4%	

はじめに、市長が本会議上で当初予算の説明を行いました。

その後、全議員で構成する財務常任委員会で当初予算の審査を行いました。

用語解説

骨格予算 市長選挙を目前に控えている場合に、新規の事業等を見送り、義務的経費や継続事業に必要な経費等、必要最小限の年間経費を計上する予算。